

高等学校ラグビーフットボール大会新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン

《第 60 岡山県高等学校総合体育大会・ラグビーフットボール競技》

【基本原則】

- 1 いわゆる 3 つの密（密閉・密集・密接）を徹底的に回避する。
 - 2 移動前の手洗い・検温の徹底とバスなどによる移動時の濃厚接触をできるだけ回避する。
- (注) 会場が遠方でバス利用をしなければならない場合は、手洗い・換気等の対策を十分にすること。
- 3 試合と直接関係ない人の来場を避ける。

【関係者のカテゴリー】

- 1 大会運営関係者（高体連役員、レフリー、本部付きトレーナー等）
- 2 学校関係者（引率教師、顧問、トレーナー、マネージャー、選手、控え部員、外部指導者）
- 3 メディア関係者（報道・写真業者等）

【大会運営関係者の対策＝事前＝】

- 1 すべての試合は、観客の可否はその競技場の指示に従うこととする。今大会は無観客試合とする。
- 2 メディア関係者は、当日、大会運営役員に許可をもらった者に限り、競技場施設内への入場及び取材を認める。なお、取材場所については、各競技場の大会運営役員の指示に従い、選手との距離は十分にとること。
- 3 表彰式は感染リスクを考慮して、最少人数で規模を縮小して実施する。

【大会運営関係者の対策＝試合会場＝】

「手洗いの励行」、「咳エチケット」、「マスク持参と必要時（受付時や更衣等の運動を行っていないときや会話をする際など）の着用」、「室内の換気」を徹底する。

<検温>

大会運営関係者、メディア関係者など試合会場に入場する全ての人は、入場の際、必ず検温を実施、記録し、37.5℃ 以上の場合は入場できないこととする。また、発熱がなくても息苦しさ（呼吸困難）や強いだるさ（倦怠感）等がある場合も同様とする。

<対策>

- 1 消毒液を本部、また必要と思われる場所に設置し、定期的に補充する。
- 2 大会役員、補助員など大会運営スタッフは原則マスク着用とする。
- 3 ベンチ内が密集になる可能性があるため、横並びに座る、なるべく人と人との距離をとるなどの対策をできる限り講じる。ベンチ内でマスクを着用することは差し支えない。
- 4 保護者等の観戦は、原則禁止とする。

- 5 本部が密集にならないように工夫し、試合を進める。
- 6 同じ競技場で複数試合を行う場合は、試合ごとにベンチの清掃、消毒（各チーム持参）を行う。その際、責任教師、スタンドを担当する責任職員に対し、その作業に係る指示を行う。消毒箇所は、ベンチ、手すりなど不特定多数の者が接触する場所とする。
- 7 競技場内諸室のドアノブ、トイレドアノブなど不特定多数の者が接触する場所は定期的な消毒につとめる。
- 8 チームが競技場から退場した後は、基本原則1に従い、その場に滞留することなく、速やかに解散するよう指導する。

【大会運営関係者の対策＝試合＝】

- 1 原則握手は行わないこととする。
- 2 競技場には、前の試合のチームが競技場から退場した後に入場させる（完全入れ替え制）。
- 3 試合前後の挨拶（整列）は、間隔を適度に空ける。

【学校関係者の対策】

以下の対策等については原則として出場チーム（学校）が責任をもってこれを行う事とする。

- 1 指導者、選手、控え部員は試合当日起床後、自身で検温し、チーム集合時に別紙名簿（別途配布）を作成し、同名簿を試合会場到着時に競技場管理団体事務局に必ず提出する。
- 2 検温の結果、37.5℃以上の者は、大会会場への来場は自粛する。体調が良くない場合も同様とする（発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）。
- 3 競技場への移動の際はマスクを着用する。各学校で消毒液を準備し、こまめに活用し、感染予防につとめる。
- 4 脱水症にも十分に配慮することとし、水分補給等を行うが、各人のペットボトルや使い捨て紙コップなどを用意し、飲み回し等を行わないようにする。また、マスクを常時着用すると体力消耗にもつながるので着用する場所としない場所の区別をつける。
- 5 飲食については、周囲の人とは対面を避け、会話は控えめにする。
- 6 競技場には、前の試合のチームが競技場から退場した後に入場する（完全入れ替え制）。
- 7 試合前の練習等でも3つの密を避けるように、十分な間隔をとる工夫をすること。
- 8 円陣を組むなどは密集にならないように配慮すること。
- 9 試合に出場していない指導者、選手などはマスクを着用する。
- 10 試合中はベンチでの大きな声を出しての応援は禁止する。素手でのハイタッチ・握手を控え、ボールも含めた共用の用具を触った手で目・鼻・口を触らない。ボールはタッチに出た際に、できるだけタオルで消毒（各校持参）する。
- 11 感染症予防に係る消毒作業等については、ベンチは大会運営役員指示の下、チームで清掃、消毒作業を行う。作業に使用する消毒液、タオル、雑巾等については、各チームで予め準備する。
- 12 競技場から退場した後は、基本原則1に従い、その場に滞留することなく、速やかに解散する。

【メディア関係者への対応】

下記対策を遵守できない際はその時点で取材許可を取り消し、競技場より退場してもらう。

- 1 来場したメディア関係者は起床時、必ず検温し、37.5℃以上の場合は、入場を断る。
- 2 受付で記者証（腕章可）による所属確認後、大会運営関係者用意の報道用ビブス(以下、ビブス)を受け取り、入場すること。
※取材を認めるペン関係の記者は【大会運営関係者の対策＝事前＝】3に限る。
- 3 競技場内では、ビブスを常に見えるようにすること。
- 4 記者室はいわゆる3つの密の状況にならないよう工夫し、回避できない場合はスタンド等で取材を行う。
- 5 競技場施設内では大会運営役員の指示に従って取材を行う。
- 6 試合終了後の取材は、チーム関係者とメディア関係者は2 m以上離れることとする。
- 7 時間を限定し、最小限で取材を終えることとする。
- 8 競技場から退場する際は、ビブスを返却すること。

【大会前に関係者から感染者等が発生したときの対応】

1 感染者が発生した場合の対応

- 大会関係者：接触歴を確認し、濃厚接触者は判明日から2週間、自宅待機とし、別の競技役員が運営にあたる。
- チーム関係者：感染者以外の指導者、部員は基本的に濃厚接触者となるため、チームは試合への参加を自粛(辞退)し、不戦敗となる。
- メディア関係者：接触歴を確認し、濃厚接触者になる場合は会場への来場を許可しない。

2 濃厚接触者となった場合の対応

- 大会関係者：当該者は2週間の自宅待機とする。2週間経過後、高熱などの症状が出なかった場合は復帰可とする。
- チーム関係者：チーム関係者以外の者が感染者となり、自身はその濃厚接触者である場合は、当該者は自宅待機とし、その者以外の指導者、部員で試合に参加することは可とする。
- メディア関係者：会場への来場を許可しない。

※ 新型コロナウイルスの感染者が出た場合、「濃厚接触者」を決めるのは「所轄の保健所」であり、遅滞なく、正しい情報を提供すること。

※ 罹患が発生した場合、本人が発症2日前から現時点までの行動歴を明らかにすることが重要である。大会役員、記録員、参加校関係者など試合に関わるすべての者は、試合が開始される2週間前からの行動歴（いつ、どこで、誰に会った、など）を記録しておくこと。

【大会中に関係者から感染者等が発生したときの対応】

関係機関と連携し、協議の上、対応する。その際、状況によっては大会を中止することもある。

【大会後に関係者から感染者等が発生したときの対応】

- 1 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかにその旨と濃厚接触者の有無を報告すること。

報告先は以下の通りとする。

I 大会運営関係者、メディア関係者、その他の関係者： 岡山県ラグビー協会 なお、報告を受けた岡山県ラグビー協会は教育委員会とその報告に関する共有を行うこと。

II チーム関係者： 当該者の所属する学校の責任教師

なお、報告を受けた当該校責任教師は、所属校並びに岡山県ラグビー協会へ報告すること。

また、報告を受けた所属校は岡山県教育委員会へ報告すること。

- 2 感染者が発生した場合、各校責任教師は、感染者を特定しようとすることや SNS で誤った情報を発信することのないように生徒に適切に指導すること。

【大会中止の要件】

- 1 岡山県教育委員会等により休校措置が講じられた場合
- 2 競技球場の使用制限等、関係諸機関の指示により試合実施が不可能となった場合
- 3 大会運営上に支障を来す事態が生じた場合

岡山県高体連ラグビー専門部

委員長 松本 剛徳

2021年3月3日.